

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年10月01日

計画の名称	鈴鹿市における生活環境の向上													
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	鈴鹿市													
計画の目標	下水道整備をすることにより、自然環境を保全するとともに、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を創造する。													
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)		4,210	A	4,204	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.14	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	①下水道処理人口普及率を53.1% (H26) から55.8% (H29) に増加させる。 ①下水道処理人口普及率 =下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	53%	%	56%
2	②防災拠点及び主要避難所のマンホールトイレ対策率を50.0% (H26) から64.7% (H30) にする。 ②防災拠点及び主要避難所のマンホールトイレ対策率 =マンホールトイレ整備箇所数 (箇所) / 総合地震対策計画に位置付けられた1ha以上の防災拠点および主要避難所数 (箇所)	50%	%	65%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿北部処理分区（未普 及解消）	面整備 A=26.4ha	鈴鹿市	■	■	■	■		594	—	
	A07-002	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿北部処理分区（牧田 污水幹線ほか）（未普及 解消）	污水管 φ=150～350mm L=1 703.0m	鈴鹿市	■	■	■	■		363	—	
	A07-003	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿西部処理分区（未普 及解消）	実施設計 A=36.59ha	鈴鹿市	■					13	—	
A07-004	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿西部処理分区（未普 及解消）	面整備 A=0.1ha	鈴鹿市				■		5	—		
A07-005	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿西部処理分区（西部 污水幹線）（未普及解消 ）	污水管 φ250～600mm L=45 4.0m	鈴鹿市	■	■				193	—		
A07-006	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿西部処理分区（西部 污水幹線）（未普及解消 ）	污水管 φ=250～600mm L=2 74.0m	鈴鹿市				■		136	—		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿南部処理分区（未普及 及解消）	面整備 A=31.1ha	鈴鹿市	■	■	■	■		752	—	
	A07-008	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿南部処理分区（南部 污水幹線ほか）（未普及 解消）	污水管 φ=350~400mm L=1 337.0m	鈴鹿市	■	■	■	■		460	—	
	A07-009	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	玉垣処理分区（未普及解 消）	面整備 A=17.9ha	鈴鹿市	■	■	■	■		383	—	
	A07-010	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	玉垣処理分区（玉垣污水 幹線ほか）（未普及解 消）	污水管 φ=200~250mm L=1 109.0m	鈴鹿市		■	■			316	—	
	A07-011	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	野町東処理分区（未普及 解消）	実施設計 A=22.72ha	鈴鹿市		■				18	—	
	A07-012	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	野町処理分区（未普及解 消）	面整備 A=16.9ha	鈴鹿市	■	■	■	■		354	—	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-013	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	野町処理分区（鈴鹿ハイ ツ污水幹線ほか）（未普 及解消）	污水管 φ150～300mm L=12 19.0m	鈴鹿市	■	■	■	■		251		—
	A07-014	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	高岡山処理分区（未普及 解消）	面整備 A=0.4ha	鈴鹿市	■	■				22		—
	A07-015	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	若松処理分区（未普及解 消）	面整備 A=9.9ha	鈴鹿市	■	■	■	■		161		—
A07-016	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	旭が丘処理分区（未普及 解消）	面整備 A=2.1ha	鈴鹿市		■	■			44		—	
A07-017	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	旭が丘処理分区（東旭が 丘污水幹線）（未普及解 消）	污水管 φ=150～250mm L=9 62.0m	鈴鹿市				■		71		—	
A07-018	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	愛宕処理分区（未普及解 消）	面整備 A=2.3ha	鈴鹿市			■	■		36		—	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-019	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（	新設	地震対策事業（地震対策	マンホールトイレ1箇所	鈴鹿市	■					3	策定済	
	A07-020	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（	新設	地震対策事業（地震対策	マンホールトイレ4箇所	鈴鹿市			■	■	■	29	策定済	
											小計						4,204		
										合計						4,204			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（	新設	マンホールトイレシステム整備	6基	鈴鹿市	■					1		—	
		基幹事業である（A07-019）であるマンホールトイレシステムと一体的に整備することにより、被災時におけるトイレ機能を確保し住民の安心を確保する。																		
	C07-002	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（	新設	マンホールトイレシステム整備	38基	鈴鹿市				■	■	5		—	
		基幹事業である（A07-020）であるマンホールトイレシステムと一体的に整備することにより、被災時におけるトイレ機能を確保し住民の安心を確保する。																		
																		6		
																	6			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 公共下水道事業関連部署による評価	事後評価の実施時期 令和元年9月 公表の方法 ホームページに掲載
-------------------------------	---

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道処理人口普及率が53.1%から56.4%となり、下水道を使用できる区域が増え良好な生活環境を図る目的を達成した。 ・防災対策として地震対策事業によるマンホールトイレを5箇所を設置した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	下水道整備を進めたことにより、自然環境を保全するとともに、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境に寄与した。

○特記事項（今後の方針等）

平成26年度から平成30年度までの5年間で社会資本総合整備計画による下水道事業を行い、定量的指標は達成することができた。今後も汚水の未普及対策を進め、安全・安心なまちづくりに取り組んでいく方針である。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率	
	最終目標値	56%
	最終実績値	56%
2	防災拠点及び主要避難所のマンホールトイレ対策率	
	最終目標値	65%
	最終実績値	65%

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	鈴鹿市における生活環境の向上		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	三重県鈴鹿市

